

埼玉の仲間

編集・発行

自治労連埼玉県本部

さいたま市浦和区
岸町7-12-8電話 048-866-0661
FAX 048-866-1186

もっと余裕のある働き方を実現しよう

埼玉の自治体・関連職場で働くみなさんへ

自治労連埼玉県本部中央執行委員長の西口です。昨年9月の定期大会で、新しく委員長の役目を引き受けさせていただくこととなりました。重責ではありますが、精一杯務めてまいりたいと存じます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

埼玉県内の自治体や、委託・指定管理者など公共関係職場で働くすべての皆様、日々の業務、大変お疲れ様でございます。

そしてなにより、自治労連の組合員の皆様には、日頃からの組合運営への多大なご支援・ご協力に対し、あらためて感謝申し上げます。「労働組合の組合員である」ということ自体が、組合にとって、とても大きな支え合いの力になって、日々の活動に活かされています。



自治労連埼玉県本部
中央執行委員長 西口 哲之

私たちの大事な労働条件を維持・向上させるには、より多くの労働者が、労働組合に加入し、労働組合の存在を大きくし、社会に与える影響力を増やすことが重要です。このことは、時代がどう移り変わろうとも、変わらない事実です。

労働組合とは、労働現場で働く一人ひとりの小さな声を集め、大きな声にしていく「スピーカー」のような存在です。組合が大きければ大きいほど、その力を大きくすることができます。

職員のみなさん、いま、ゆとりをもった仕事ができますか？

私は、職員に、心の余裕がないと、住民のためにいい仕事をすることはできないと思います。本当なら、もっと「じっくり、丁寧な仕事」がしたいのではないのでしょうか。みなさんはそれぞれ、仕事に関して、社会に関して「もっとこうだったらいいのに」という想いをお持ちなのではないのでしょうか。

その想いをそれぞれ持ち寄り、解決の方向を探り、実現を目指すのが労働組合です。持ち寄るための「目と耳と口」は、よりたくさんあった方がいいのです。

労働組合は、職場の風通しをよくするための存在です。風通しを良くするためには、想いを口にすることが大事です。ゆとりある仕事や難しくなってきた今だからこそ、そうした役割をもっと組合は果たさねばなりません。

それぞれの不満や愚痴をもとに、実現したいことをかなえるため、必要に応じ使用者（当局）との労使交渉を行い、コツコツと社会や政治にも働き掛けていく必要があります。

労働組合の先達たちが勝ち取ってきた成果には非常に豊かなものがありますが、労働組合には、まだまだ大きな可能性があります。

埼玉で働く私たち「パブリック・ワーカー」どうし、さらにもっと大きく、力を合わせていきませんか。



組合の活動のようす

自治労連埼玉県本部では、県内各自治体の組合(=単組(たんそ))を超えて、職員としての素養を深める様々なテーマでの学習会やツアー、遊びの企画をしています。新型コロナが収束に向かえば、また以前のように取り組みを活発にしていきます。



若手保育士の研修・交流の場「Saitama Line」

『Saitama Line』は、県内公立保育所の若手が中心に集まり、企画・運営している保育の研修と交流会。

『Saitama Line』という名前には、県内でそれぞれ頑張っている若手保育士を「点」に例え、その仲間たちと「線」(Line)のようにつながっていきたいという思いが込められています。



地方自治の原点を学ぶ、星空・温泉ツアー in 長野県阿智村

「日本一美しい星空」で有名な長野県の阿智村で、「星空・温泉・ツアー」を開催。

埼玉の自治体で働く若手の組合員が、星空や雲海を見て感動。そして長野県阿智村の役場職員の方々とも交流し、小さな自治体での地方自治の原点を学びました。



再生可能エネルギー学習ツアー in 岩手県葛巻町

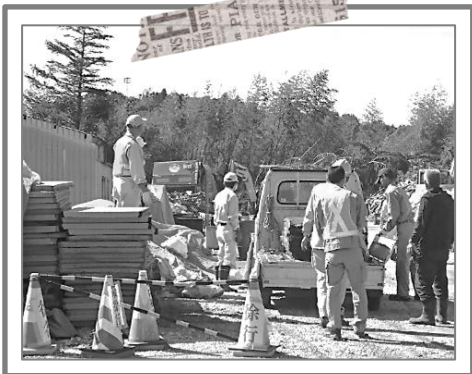
環境問題を考える見学ツアーで、再生可能エネルギーを活用したまちづくりを進める岩手県葛巻町を視察。環境問題に関心のある組合員が参加しました。町の担当者にも直接貴重なお話をうかがい、環境の部署にいる職員は業務に役立てることができました。



埼玉地方自治研究集会(自治研集会)

毎年、県内の様々な職場・職種の自治体職員があつまり、地方自治や仕事をめぐる最新の情勢を学び、今後の自治体の仕事の方向性について話し合っています。

第一線の学者・研究者の講演や、各行政分野の現場からのレポート発表で考えを深め、私たちが「住民全体の奉仕者」の仕事の担い手であることをあらためて確認します。



被災地支援ボランティア

台風や大地震などで甚大な被害を受けた被災地支援に役立てるための募金を集めるとともに、実際に被災地に入りボランティアをすることもあります。同じ自治体職員どうして助け合うことができ、また自分の自治体のこれからの防災対策を考えるためにも貴重な経験となっています。

自治労連埼玉県本部
ホームページ
twitter
「自治労連埼玉 @Jichiroren_SJ」



きりとり
私は自治労連に加入します。

名前 _____ 所属 _____

各役所の組合までお願いします。メールでもOKです。